びわ湖大津歴史百科

第8回ワークショップ

源氏物語の挿絵

～源氏絵から読み解く雅の世界～

講師：狩野 博幸（日本近世美術史家）

参加費無料

2017年12月10日（日）

13:00 開始（受付開始 12:30）

14 時 45 分頃より源氏小鏡塗り絵の
ワークショップ体験 があります。

会場：石山寺 塔頭 明王院

主催：大津市浜大津・石山地区文化遺産活用実行委員会
後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会

平成 29 年度文化庁文化遺産総合活用推進事業
（地域文化遺産活性化事業）

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

背景図版：『源氏小鏡』より須磨

講演概要：「源氏物語の挿絵～源氏絵から読み解く雅の世界～」

石山寺は紫式部が『源氏物語』の着想を得た地といわれています。『源氏物語』は、桐壺から始まる五十四帖で構成され、紫式部の時代から多くの人に愛されました。『源氏物語』は文学作品としてだけでなく、後に主要な場面が「源氏絵」として絵画化され、絵巻や冊子絵として鑑賞されるなど、日本の美術にも大きな影響を与えました。

石山寺にも、数々の『源氏物語』に関連する宝物が所蔵されています。その中でも『源氏小鏡』は、物語の五十四帖各巻について、あらすじ、登場人物、和歌などをわかりやすく解説し、その間の重要な場面の挿絵を一枚添えた「五十四帖で読む源氏物語」として十四世紀ごろ作られたものです。石山寺本『源氏小鏡』は、端麗な筆致の古写本であると同時に、挿絵は美しく精細な彩色画です。このような彩色画の挿絵を持つ『源氏小鏡』は、わが国では石山寺本だけです。今回は『源氏小鏡』をはじめとする源氏絵の深い魅力に迫っていきます。

またセミナー後には、この石山寺本『源氏小鏡』の塗り絵体験の時間も用意しています。ぜひお楽しみください。

石山寺本『源氏小鏡』原本

■講師プロフィール

狩野博幸（かの ひろゆき）

日本近世美術史家。

九州大学大学院博士課程中退。京都国立博物館研究員、同志社大学文学情報学部教授を歴任。

■当日のスケジュール

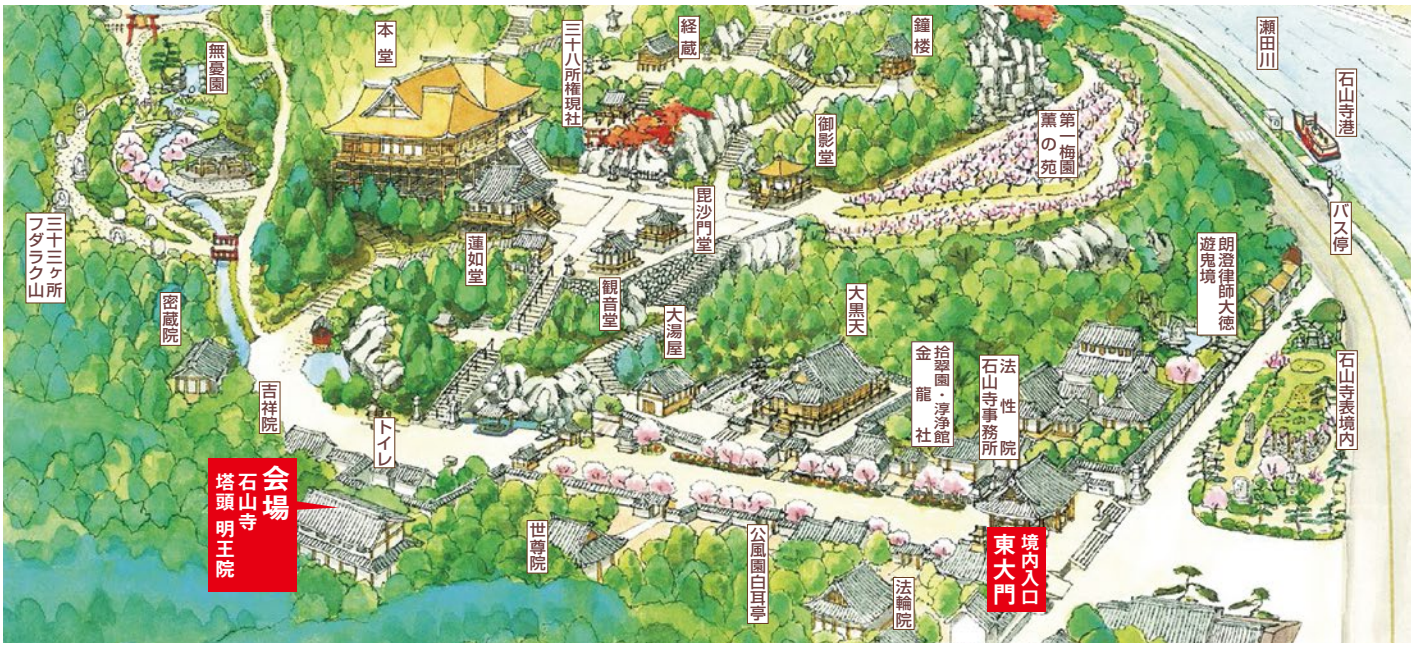
講　　演	13：00～14：30（受付開始12：30）
体　　験	14：45～
終了予定	16：00
場　　所	石山寺 塔頭 明王院
定　　員	50名

■会場へのアクセス

○ 京阪 石山寺駅（石坂線）より 徒歩 10 分

○ JR 石山駅（東海道線）より石山駅京阪バス石山寺山門前 下車すぐ

■会場案内図



お申込み・お問合わせ

びわ湖大津歴史百科のホームページ www.rekishihyakka.jp の申込フォームにてお申込みください。

メール：info@rekishihyakka.jp　　TEL：077 - 522 - 2238 / FAX：077 - 522 - 2221